

京都大学医学部附属病院の女性医師支援のための調査
The Support of the Female Doctors in Kyoto University Hospital

大越香江（京都大学医学部附属病院消化管外科 医員）

【ねらいと目的】

近年女性医師の割合が増加し、医師国家試験の合格者に占める女性の割合も3割を超えている。医師不足が危惧される昨今、女性医師の増加もそのひとつの要因であるといわれている。女性医師の就業率は30歳代になると急激に低下する。結婚・出産・育児を経て、仕事と家庭の両立に苦慮してキャリアをあきらめざるを得ない女性医師も多い。その結果、従来から女性医師の比率が高いとされる産婦人科や小児科では深刻な医師不足が生じている。女性医師が出産や育児を経て仕事を続けていくためには、子育て支援、勤務制度の改善、生涯教育・再教育の支援などが必要である。そこで、京都大学医学部附属病院において、現時点での女性医師支援対策の実態を調査し、実際に勤務する女性医師がどのような問題を抱えながら勤務しているか、どのような支援があれば医師の仕事の続けていきやすいと考えているかなどの意識調査を行う。

京都大学においても、女性研究者支援センターによる保育園待機乳児保育室や病児保育室の開設により、子育て支援が少しずつ進んできている。しかし、東京大学や愛媛大学など、院内保育所を整備しているところもある。それらの病院が院内保育以外にもどのような女性医師支援をしているかを調査し、今後の京都大学医学部附属病院における女性医師支援の一助としたい。

この研究を通じて女性医師支援ネットワークを構築し、持続的な活動の礎となることも期待している。

【活動の記録】

(1) 京大病院における女性医師の実態把握

2009年2月、京大病院に勤務する女性医師数、所属科、身分などの分布について人事掛の協力によりデータを収集した。

(2) 2008年12月17日、医療情報部の協力で Kyoto University Medical Women's Association (KUMWA) 京都大学女性医師の会（仮称）のメーリングリストを立ち上げた。

(3) 女性医師支援に先行して取り組んでいる岡山大学病院（2008年11月27日）、大阪厚生年金病院（2008年12月11日）を見学した。

(4) 2009年2月20日 パネルディスカッション「女性医師が働き続けるために大学病院の職場環境を考える」を開催した。

- ・本調査研究の概要や日本および京大病院の女性医師の現状について（大越香江）
- ・女性医師の多い産婦人科の現状や育児をしながらの困難だった自身の勤務経験などについて（京大病院産婦人科助教：高尾由美医師）
- ・京大病児保育室の概要と現状（京都大学病児保育室長・小児科講師：足立壮一医師）
- ・岡山大学で行われている様々な女性医師支援について（岡山大学病院キャリアセンター代

表：片岡仁美医師)

・女性社員の育成、勤務継続の取り組みについて（株式会社ワコール人材開発部長：小林正治氏）

・政府の男女共同参画の基本計画について、女性医師の問題を男性にいかにかに伝えていくかの重要性についてなど（京都大学文学研究科：伊藤公雄教授）

（５）女性医師に対するアンケート調査

京都大学医学部附属病院に勤務する女性医師 132 名に対して女性医師支援の必要性、意義などについて調査票を用いた調査を実施。2009 年 3 月 6 日に配布し、学内便で回収することとし、19 日を締め切りとした。

【成果の概要】

（１）京大病院人事課の協力により女性医師の実態調査を行ったが、助教以上の常勤のポストについている女性医師の割合が実際に少ないことが明らかになった。

（２）Kyoto University Medical Women's Association (KUMWA) 京都大学女性医師の会（仮称）のメーリングリストを立ち上げ、本調査研究の進捗を報告する手段になっている。また、シンポジウムやアンケート調査などの機会に少しずつ登録者が増えてきている。

（３）女性医師支援に先行して取り組んでいる施設として、岡山大学病院、大阪厚生年金病院見学を見学した。このときお世話になった岡山大学病院キャリアセンターの片岡仁美代表を 2009 年 2 月 20 日（金）開催したパネルディスカッションに招聘し、大阪厚生年金病院の清野佳紀院長は 5 月開催予定の第 2 回シンポジウムの講演に招聘する予定である。施設見学のみならず、情報交換などの交流の機会にもなった。

（４）女性医師に対するアンケート調査により、

（５）2 月 20 日パネルディスカッションを開催し、現時点で女性医師の置かれている状況や問題点を洗い出し、さらに一般企業における女性社員の現状などとも比較する機会となった。

なお、上記活動経過・結果を「京都の医療を考える若手医師の会」で公開中である。

<http://www.kyoto-wakateishi.com/>

The screenshot shows the homepage of the 'Association of Young Doctors of Kyoto'. The header features the title '京都の医療を考える若手医師の会' and 'Association of Young Doctors of Kyoto'. Below the header is a navigation menu with links for 'ホーム', '会の概要', '運営者', '入会について', '活動内容', and 'イベント'. A search bar is located on the left side. The main content area displays an archive for March 2009, with a post titled '女性医師支援に関するアンケート調査'. The post is published by 'admin' and is categorized under '女性医師支援, 女性医師のキャリア'. The date '3月 31 2009' is shown in a small box. The post content begins with '京大病院における女性医師支援についてのアンケート調査が終了し、地道にちまちまと集計をしているところです。'

